

あなたの街のお医者さんガイド

ホームドクター

2008

保存版

780yen

札幌 江別 旭川版

近くの頼れるお医者さん
458軒収録

気がかりだけど、なかなか聞けない体の疑問

先生、聞いてもいいですか？



女性の健康

人には聞きにくい
あの病気この病気



歯は万病の元

40歳からの歯の健康

おいと味がしないので、食べ物のおいしさがわからないのですが？



+ Doctor

旭川医科大学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授

●原 洩 保明氏

感じる細胞が障害を受けます。現代人はいわゆるジャンクフードやインスタント食品など亜鉛を含まない食事をとることが多く、亜鉛不足の状態です。血液検査で亜鉛の低下が認められる場合、亜鉛を含んだ薬の内服が有効です。血圧の薬や安定剤の服用、全身的な病気で口が乾燥し、舌が炎症を起こすことも味覚障害の原因となります。この場合、うがい、人工唾液、口腔ケア商品などで口の中をきれいにして、潤いを保つことが重要です。嗅覚障害の原因として副鼻腔炎やアレルギー性鼻炎が多く、副鼻腔炎の手術で、嗅覚が元に戻ることもあります。原因不明で難治性の嗅覚障害の患者さんはステロイド点鼻療法を根気強く行うことが必要です。このように味覚と嗅覚障害の原因はいろいろあります。耳鼻咽喉科では口や鼻の中の詳細な観察、画像診断、静脈性嗅覚検査、電気味覚検査、血液検査などを行います。その上で適切な治療を受けることが重要です。

人間の色々な感覚の中で味（味覚）とにおい（嗅覚）は豊かな生活を楽しむために欠くことのできない感覚です。舌で甘み、酸味、塩味、苦み、旨みなどの基本の味を感じ、さらに口から鼻に抜ける香りやおいを感じる、それが風味となり、食べ物のおいしさを実感します。しかし、味やにおいの感覚が損なわれると非常に困ったこととなります。全くにおいがない場合、ガス漏れや火事に気付くのが遅れることがあります。

最近、若年者から高齢者まで嗅覚や味覚障害の患者さんが増えています。味覚障害の原因として最も多いものは亜鉛欠乏によるものです。亜鉛が不足すると舌の味を